

作成日：2024 年 09 月 01 日

初版

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 ハイパークールパッチ（液剤）
供給者の会社名称、住所及び電話番号
会社名 鹿島道路株式会社
住所 〒112-8566 東京都文京区後楽一丁目7番27号
担当部門 営業本部営業部 技術営業課
電話番号 03-5802-8011
FAX 番号 03-5802-8042
推奨用途 土木舗装用補修材

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

物理化学的危険性 : 該当しない
健康有害性 眼に対する重篤な損傷 : 区分2A
環境有害性 水生環境有害性 短期（急性） : 区分3
水生環境有害性 長期（慢性） : 区分3

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 警告
危険有害性 強い眼刺激 [H319]
情報 水生生物に有害 [H402]
長期継続的影響によって水生生物に有害 [H412]

注意書き

[安全対策] 取扱後は手、顔等をよく洗うこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
環境への放出を避けること。
[応急措置] 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診断、手当てを受けること
[保管] 施錠して保管すること。
[廃棄] 内容物や容器を国道府県の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
成分及び濃度又は濃度範囲 :

化学名又は一般名	濃度範囲(%)	化審法官報整理番号	CAS 番号
水	60～62	—	7732-18-5
スチレン・ブタジエン共重合体	38～40	既存化学物質	非開示
アンモニア	0.26	(1)-391	7664-41-7

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動させ安静にし、直ちに医師の診断を受ける。
- 皮膚（または髪）に付着した場合 : 付着した衣服、靴を脱ぎ、付着した部分を水または微温湯を流しながら洗浄する。炎症が出た場合は直ちに医師の診断を受ける。
- 眼に入った場合 : 清浄な水で最低 15 分間眼を洗浄した後、直ちに眼科医の手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中をよく洗い、直ちに医師の診断を受ける。無理に吐き出させないようにする。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水 [○]、二酸化炭素 [○]、泡 [○]、粉末 [○]、乾燥砂 [○]、その他（強化液）
- 使ってはならない消火剤 : 特になし
- 特有の消火方法 : 火元の燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。延焼の恐れのないよう水スプレーで周辺を冷却する。消火作業は風上から行う。
- 消火を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 保護衣を着用するほか、状況によっては、不浸透性手袋、有機ガス用防毒マスク等の保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 作業の際には必ず保護手袋、長靴、保護メガネ、防じんマスク等の保護具を着用すること。
- 環境に対する注意事項 : 河川・湖沼等に流入すると広範囲にわたり白濁させる。河川・湖沼等の公共水域への流入は絶対に避ける。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 少量漏洩時は、布・紙ウエス・おが屑・砂等に吸収させて回収する。大量漏洩時：流路を毛布、土嚢、土壘当を用いてせき止め、バキューム等で汲み上げる。
- ※注意※ 河川・湖沼等に流入した場合は、必要に応じ、消防署・都道府県市町村の公害関連部署・河川管理局・水道局・保険所・農協・漁協等に連絡を取る。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

- 取扱者のばく露防止 : 目、皮膚への接触を防止するため、状況に応じ保護眼鏡、保護手袋などの保護具を着用する。
- 局所排気、全体換気 : スプレーミストや蒸気を発生する作業の場合は局所排気装置を設置するか保護マスクを着用する。
- 安全取扱注意事項 : 漏洩を防止する。
- 接触回避 : 水禁忌物質との接触を避ける。

保管

- 安全な保管条件 : 密栓し、凍結・直射日光を避け、屋内で保管する。貯蔵温度は 5 ～ 35℃が好ましく温度変化の大きい戸外は避ける。

混触禁止物質	: 水禁忌物質との接触を避ける。
適切な保管条件及び避けるべき保管条件	: 部外者が触れない措置を講ずる。
安全な容器包装材料	: 容器は破損、腐食、割れ等のないものを使用する。

8. ばく露防止措置及び保護措置

許容濃度等

アンモニア	日本産業衛生学会 (2023 年度)	25ppm
アンモニア	A C G I H (2024 年)	25ppm (8 時間 TLV-TWA)

ばく露防止

設備対策 : 蒸気、ミストが発生する場合には、局所排気装置などの排気のための装置を設置する。

本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

保護具

呼吸用保護具	: 状況に応じ、有機ガス用防毒マスクを着用する。
眼の保護具	: 状況に応じ、保護眼鏡を着用する。
手の保護具	: 状況に応じ、P E、ゴム製等の非浸透性の手袋を着用する。
皮膚及び身体	: 状況に応じ、長袖作業着等を着用する。

保護具

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 水性液体
色	: 乳白色
臭い	: ほとんどなし
融点/凝固点	: 約 0℃
沸点又は初留点及び沸点範囲	: 約 100℃
可燃性	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
p H	: 8.0 ~ 9.0
動粘性率	: データなし
溶解度	: 水との任意の割合で混合可能
n-オクタノール/水分配係数 (log 値)	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び/又は相対密度	: 約 1.0
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性 : 通常の手扱い条件では反応性はない。

化学的安定性	: 通常の取扱い条件では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の取扱い条件では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件	: 水禁忌物資ストの接触
混触危険物質	: 水禁忌物資
危険有害な分解生成物	: 知見なし

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	: 混合物の急性毒性推定値は 2000mg/kg 以上。
急性毒性（経皮）	: 混合物の急性毒性推定値は 2000mg/kg 以上。
急性毒性（吸入:ガス）	: 本製品は常温で液体のため分類対象外。
急性毒性（吸入:蒸気）	: 混合物の急性毒性データが不十分なため、分類できない。
急性毒性（吸入:粉じん、ミスト）	: 混合物の急性毒性データが不十分なため、分類できない。 アンモニアの LC50 は 7679 mg/kg ラット
皮膚腐食性／刺激性	: 混合物の、皮膚腐食性区分 2 以上に該当する成分濃度は 1 %未満。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: 混合物の、皮膚腐食性または眼に対する重篤な損傷性区分 1 に該当する成分濃度が 1 0 %以上であるため、区分 2 A に相当。
呼吸器感作性	: データ不足のため分類できない。
皮膚感作性	: データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	: 混合物の生殖細胞変異原性区分 2 以上に該当する成分濃度は 0 . 1 %未満。
発がん性	: 混合物の、発がん性区分 2 以上に該当する成分濃度は 0 . 1 %未満。
生殖毒性	: 混合物の、生殖毒性区分 2 以上に該当する成分濃度は 0 . 3 %未満。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: データが不十分のため、分類できない。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	: データが不十分のため、分類できない。
誤えん有害性	: データ不足のため分類できない。
その他の情報	: 皮膚に付着したままにすると、炎症をおこす場合がある。 蒸気を吸引すると、頭痛をおこす場合がある。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期（急性）	: 混合物の、水生環境有害性 短期（急性）区分 3 に該当する成分濃度が 2 5 %以上あるため、区分 3 に相当。
水生環境有害性 長期（慢性）	: 混合物の、水生環境有害性 長期（慢性）区分 3 に該当する成分濃度が 2 5 %以上あるため、区分 3 に相当。
生態毒性	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生物蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: モントリオール議定書の附属書に記載される物質成分はない。

13. 廃棄上の注意

化学品（残余廃棄物）、当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ま

しい廃棄、又はリサイクルに関する情報

- 残余廃棄物 : 廃棄は原則として焼却とする。そのままの状態では絶対廃棄しないこと。廃棄は許可を得た産業廃棄物処理業者に委託する。
洗浄水等の排水は凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。
- 汚染容器及び包装 : 内容物を完全に除いた後処分する。処理は法規の規定に従って行う。

14. 輸送上の注意

- 国連番号 : 該当しない
品名（国連輸送名） : 該当しない
国連分類 : 該当しない
容器等級 : 該当しない
海洋汚染物質 : 該当しない
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策 : 転倒、落下、損傷、破袋、荷崩れの防止を確実に行う。
重量物を上積みしない。
水濡れ厳禁
国内規制がある場合の規制情報 : 該当なし

15. 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第 5 7 条第 1 項）

アンモニア

名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第 5 7 条の 2）

アンモニア

リスクアセスメント対象物（法第 5 7 条の 3）

アンモニア

皮膚等障害化学物質（則第 5 9 4 4 条の 2）

アンモニア

労働基準法 疾病化学物質【アンモニア】

化審法 該当しない

化学物質排出把握管理促進法 該当しない

毒物劇物取締法 該当しない

16. その他の情報

免責事項

- ① は この情報は、作成者の知識の及ぶ限りにおいて正確ですが、その内容の絶対的な情報の正確性、及び情報収集の網羅性については、完全ではありません。
- ② 本記載内容は、材料、製品に関するものであり、この材料が他の素材と組み合わせられたり、処理されたりした場合については想定しておりません。
- ③ 特に医療用途、食品接触用途、化粧品、玩具、飼料では使用しないで下さい。
- ④ この材料を適切に使用する最終的決定の責任及びこの情報をユーザー独自の取扱いに適合させ、完全で満足できるものとする責任はユーザーにあります。
- ⑤ 全ての材料には未知の危険性があり、取扱いに十分に注意する必要があります。この SDS には特定の危険性について記載してありますが、これ以外の危険性が存在しないとはいえません。
- ⑥ ご使用に際しては、必ず貴社にてリスクアセスメントと事前テストを行い、使用目的に適合するかどうか、および安全性について、貴社の責任においてご確認下さい。
- ⑦ 本書の記載は新しい知見により断りなく変更する場合がありますのでご了承下さい。

引用文献・参照情報

- ・ GHS 混合物分類判定ラベル作成システム
<https://www.ghs.nite.go.jp/>
- ・ 政府による GHS 分類結果
https://www.nite.go.jp/chem/ghs/ghs_download.html
- ・ NITE 化学物質総合情報提供システム (NITE-CHIRP)
https://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop
- ・ EU CLP Classification (Table 3)
<https://echa.europa.eu/information-on-chemicals/annex-vi-to-clp>
- ・ EU CLP Notified classification and labelling according to CLP criteria
- ・ JIS Z 7252 : 2019
<https://kikakurui.com/z7/Z7252-2019-01.html>
- ・ JIS Z 7253 : 2019
<https://kikakurui.com/z7/Z7253-2019-01.html>
- ・ 化学品の分類および表示に関する世界調和システム (GHS) 改訂 6 版
https://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/int/files/ghs/ghs_text_6th/GHS_rev6_jp_document.pdf
- ・ GHS 対応-化管法・安衛法・毒劇法におけるラベル表示・SDS 提供制度
<https://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/anzen/dl/130813-01-all.pdf>
- ・ 2023 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
- ・ 2024 TLVs and BEIs. (ACGIH)